



のと里山里海未来創造シンポジウム
—能登から未来を拓く—



大規模災害時における被災者と支援者への こころのケア

金沢大学保健管理センター
吉川弘明

2025 1 25 (土) 金沢市文化ホール



能登里山里海未来創造センター



里山里海創造WG

中長期的視点による創造的復興に向けた構想の立案、学内外の調整を行う。

座長 センター長 谷内江 昭宏



令和6年能登半島地震金沢大学合同調査チーム「KUD」

(Kanazawa University Disaster investigation team)

研究分野を超えた、文理医融合の合同調査チーム。能登半島全域における被災地の現状把握や被災者支援、復興対策に役立つ公共性・公益性の高い情報発信を行う。

統括 理事・副学長 中村 慎一



こころのケア専門チーム「KEYPAT」

(Kanazawa Educational Yell Psychological Assistance Team)

令和6年能登半島地震によって、心の不調を抱えることになった方々を心理面から支援する全学的チーム。個別のサポートとともに集団のサポートとコンサルテーションを行う。

統括 保健管理センター長 吉川 弘明



医療支援

被災者の健康維持増進に必要な医療支援を中長期的な視点に立って行う。能登半島地震発災からの医療支援全般にかかわる本学の取組を振り返り、課題と今後の震災に向けた対策を立案する。

統括 附属病院長 吉崎 智一



教育・ひとづくり

急性期の被災中学生・高校生に学習環境（場所及び物的・人的支援）を提供し、学びの継続を支える。並行して、帰還期・復興期を見据えた地域再建のための価値再生と価値創造を、教育と人づくりの視点で推進する。

統括 理事・副学長 森本 章治



被災地支援（ボランティア）

金沢大学学生・教職員ボランティアの被災地への継続的な派遣と現地での支援活動の実施により、地域との連携を深め、地元大学として長期的な復興支援と地域再生を行う。

統括 理事・副学長 森本 章治



令和6年能登半島地震によって、こころの不調を抱えることになった方々を心理面から支援する全学的チーム。個人の支援とともに集団の支援を行う。

メンバーは、公認心理師の資格を持ち、カウンセリング業務を行える金沢大学の教員等

組織

4 学域・ 20 学類等	融合学域 先導学類、観光デザイン学類、スマート創成学類
	人間社会学域 人文学類、法学類、経済学類、学校教育学類、地域創造学類、国際学類
大学院 7 研究科	理工学域 数物科学類、物質化学類、機械工学類、フロンティア工学類 電子情報通信学類、地球社会基盤学類、生命理工学類
	医薬保健学域 医学類、薬学類、医薬科学類、保健学類
	国際基幹教育院総合教育部 (1年次のみ)
	人間社会環境研究科
	自然科学研究科
	医薬保健学総合研究科
	先進予防医学研究科
	新学術創成研究科
	法学研究科
	教職実践研究科

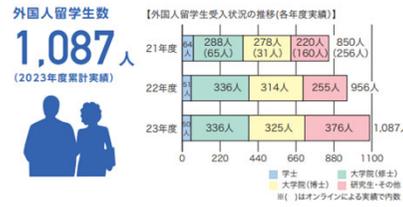
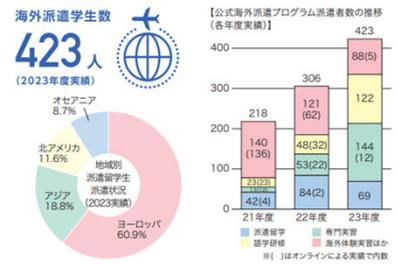
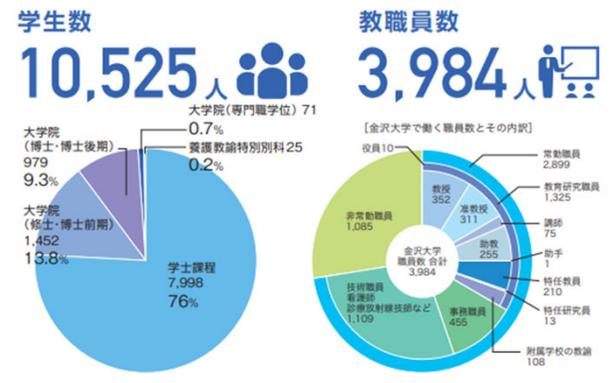
7 研究所
がん進展制御研究所/ナノ生命科学研究所/ノモテリアル研究所/設計製造技術研究所/高度モビリティ研究所/古代文明・文化資源学研究所/先端観光科学研究所

その他
4 研究域、附属病院、研究域附属センター、学内共同教育研究施設 ほか

**データで見る
金沢大学
2024**

KANAZAWA UNIVERSITY

学生数、教職員数



附属学校園幼児・児童・生徒数

【附属学校園在籍者数】 単位：人

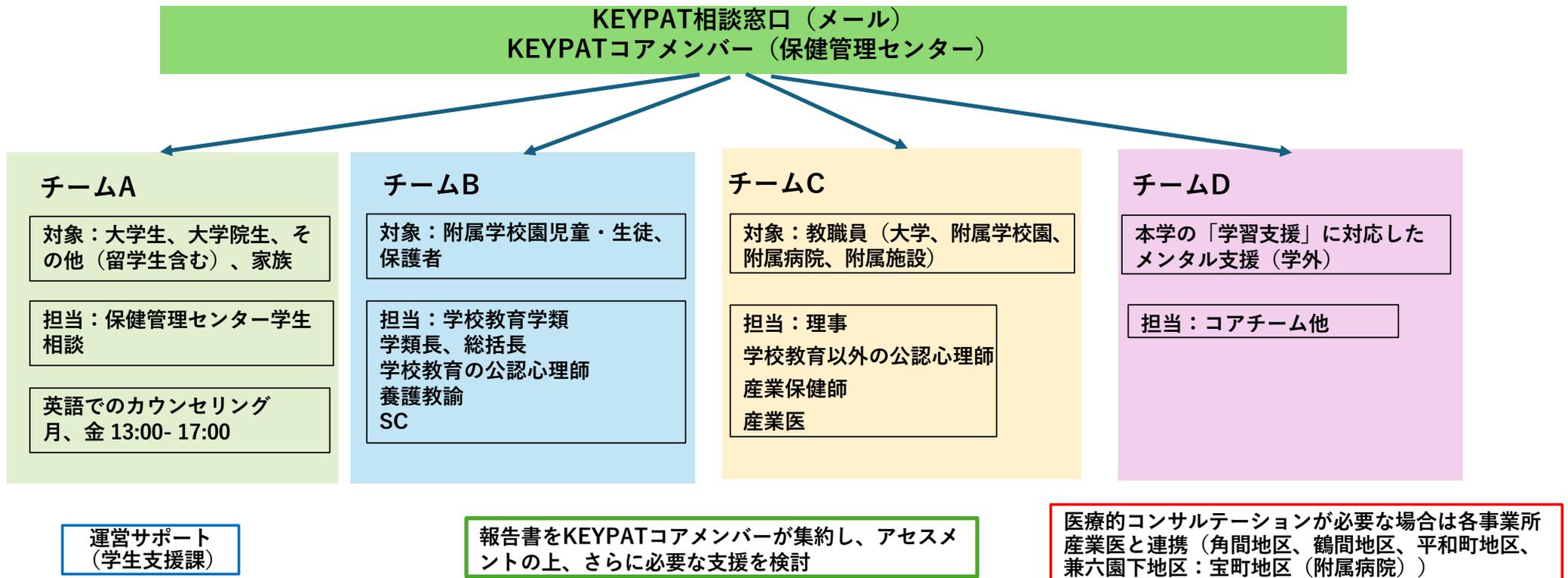
学校名	在籍者数	学校名	在籍者数
幼稚園	74 (36:48.6%)	高等学校	362 (181:50.0%)
小学校	602 (299:49.7%)	特別支援学校	58 (26:44.8%)
中学校	475 (237:49.9%)		
合計			1,571 (779:49.6%)

()内の数値は女子児童・生徒の人数および割合です。



個人の支援（カウンセリング）

KEYPAT



誰も取り残さない支援体制



集団の支援

個人に対する支援が届かない人たちがいるため、集団に対する支援が必要



2024/4/18 ウェルカム・コンサート



心にとどく



Welcome Concert

KEYPAT・学生支援プログラム共催



2024/4/18 (木) 12:15-12:45

金沢大学学生会館 大ホール (角間キャンパス)

吉川弘明 (フルート) 山田ゆかり (ピアノ)

C.P.E. バッハ/ハンブルガー・ソナタ 長調 W1.133

G. ショッカー/後悔と決心

N. バガニーニ/カンタービレ



参加費無料、飲食可、学生・教職員参加可能

音楽には、心と体を癒す力があります。自律神経系に作用して、心拍や血圧が変化し、興奮や鎮静、リラクゼーションなどの効果をもたらされます。感情、知覚、認知も活性化します。フルートの優しい響きは、心をリラックスさせ、癒しを与える効果が期待できると言われています。この機会にぜひご参加ください。さわやかで心地の良い曲を選びました。

【申し込み方法】申し込みなしでも席があいていれば参加できますが、席を確保したい人は、4月15日(月)17:00までにメールで申し込みをしてください。受付終了後メールが来ますので、返信してください。連絡がついた順に受付完了とします。メールの件名にプログラム名を入れ、本文に学籍番号、氏名、電話番号(職員は所属、氏名、電話番号)をお送りください。



金沢大学保健管理センター
Kanazawa University Health Service Center

【参加申込受付】

sgp8739310@ml.kanazawa-u.ac.jp





2024/5/16、23、28 「野菜たっぷり簡単朝食スープ 試食会」を実施

石川県栄養士会から
災害支援の申し出を
いただき、物資を配布



金沢大学学生支援プロ
グラム (KUSSP) と
共催企画



2024. 5

食育プログラム

朝食ちゃんと食べてますか？



レシビ
もらえます！

～野菜たっぷり簡単朝食スープ試食会～

Soup Tasting Event – Let's eat various vegetables!

1日のはじまりの朝食に、簡単に作れて野菜たっぷりのスープを食べる習慣にしませんか。切る手間、煮る手間、片づける手間をなるべく省いて簡単に
おいしくできるスープの紹介と試食（飲む！よりは 食べる！）をします。

日 時 5/16 (Thur.) 11:45～なくなり次第終了

場 所 自然科学本館 B2階 生協横

Natural Science and Technology Main Hall B2

日 時 5/23 (Thur.) 11:45～なくなり次第終了

場 所 総合教育講義棟エントランス

General Education Hall 1 2F

日 時 5/28 (Tues.) 11:45～なくなり次第終了

場 所 保健学類3号館学生ラウンジ（保健学類図書室前）

School of Health Sciences Hall 3 1F

材料費 1杯 50円 定員 当日受付 先着50名

あさりとたっぷり野菜の
クラムチャウダー

旬の旬を使った中華スープ
酸辣湯（サンラータン）



テイクアウト
用意してます



金沢大学保健管理センター
Kanazawa University Health Service Center

Student Support Program
sgp8739310@ml.kanazawa-u.ac.jp





2024/6/18 留学生への支援プログラムを開催



ストレス・マネジメントワークショップの様子



食料品支援の状況



2024/10/10 KEYPATプログラム 「ストレスマネジメント（リラクゼーション）」

Stress Management
-Relaxation- ストレスマネジメント リラクゼーション

開催日時
2024年10月10日(木)
17:20~18:20

場所
自然科学系図書館 G1
オープンスタジオ

対象
本学学生、教職員
定員
15名（要事前申込）
参加費
無料
申し込み方法
以下のQRコードから
お申し込みください▼



金沢大学
KANAZAWA

KEYPATプログラム

主 催：KEYPAT (Kanazawa Educational Yell Psychological Assistance Team)
共 催：金沢大学保健管理センター
問合せ先：keypat-info@ml.kanazawa-u.ac.jp 

KEYPATは、能登半島地震によって、こころの不調を抱えることになった方々を支援する金沢大学の全学的チームです。公認心理師を中心に構成されています。



自然科学系図書館G1オープンスタジオ



2024/12/12、16 アニバーサリー反応に備えたプログラム

金沢大学
KANAZAWA

Reaching the Heart Christmas Concert

Co-hosted by
KEYPAT and Health Service Center

2024/12/12 (Thu) 12:15-12:45
Kanazawa University, University Hall
(Kakuma Campus)

Hiroaki Yoshikawa (Flute) Yukari Yamada (Piano)
F. Schubert Ave Maria
A. Piazzolla Invierno Porteño
G. Shocker Airborne





Participation is free, eating and drinking allowed, open to students and faculty
if you would like to reserve a seat, please apply using the QR code.

Music has the power to heal the mind and body. It acts on the autonomic nervous system, changing the heart rate and blood pressure, and bringing about effects such as excitement, sedation, and relaxation. It also activates emotions, perception, and cognition. It is said that the gentle sound of the flute can have a relaxing and healing effect on the mind. Please take this opportunity to join us. We have selected songs that you would like to listen to at Christmas and songs that will make your heart flutter.



金沢大学保健管理センター
Kanazawa University Health Service Center

【参加申込受付】

sgp8739310@ml.kanazawa-u.ac.jp

Stress Management -Relaxation with coloring -

開催日時
2024年12月16日(月)
17:30~18:30

場所
自然科学系図書館 G1
オープンスタジオ

対象
本学学生、教職員

定員
20名 (要事前申込)

参加費
無料

申し込み方法
以下のQRコードから
お申し込みください▼



金沢大学
KANAZAWA

KEYPATプログラム

マンダラ
曼荼羅塗り絵で
リラクゼーション

曼荼羅塗り絵は、模様好きな色を塗っていくだけで、心と体が知らない間に癒されていきます。

- ・無心に塗ることで、日々のストレスから解放されます。
- ・心と体の深いリラクゼーションが得られます。
- ・1枚仕上げるごとに、達成感と爽快感が得られます。

本プログラムでは、はじめての方向けに簡単なレクチャーと塗り絵の実践を行います。



主催：KEYPAT (Kanazawa Educational Yell Psychological Assistance Team)

共催：金沢大学保健管理センター

問合せ先：keypat-info@ml.kanazawa-u.ac.jp



金沢大学保健管理センター
Kanazawa University Health Service Center



KEYPATは、能登半島地震によって、こころの不調を抱えることになった方々を支援する金沢大学の全学的チームです。公認心理師を中心に構成されています。

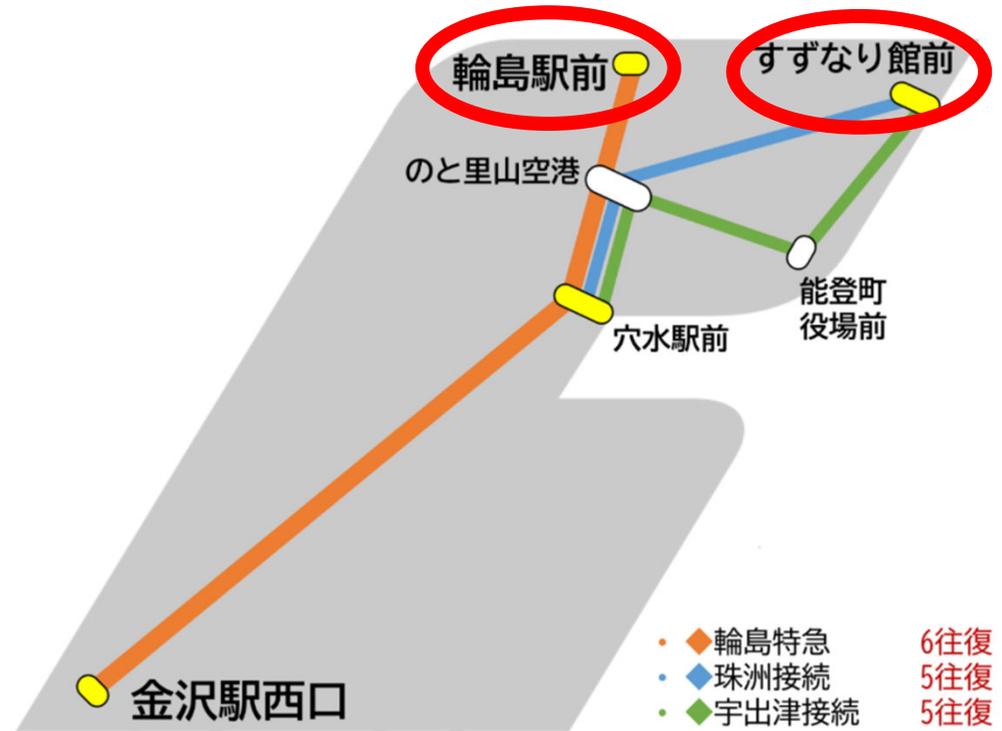


被災地での支援

- 発災後6か月を経て、学内における急性期の支援を求める要望は減少し、保健管理センターの通常のメンタルヘルス・ケアに移行した
- 医療につながる前の予防的なこころのケアを被災地で開始した



KEYPATの支援先





県立輪島高等学校での活動

- 校長、養護教諭、相談課教諭へのコンサルテーションと、探求授業（街づくりプロジェクト：街プロ）に参加して学生の見守り。



県立輪島高等学校

- 7月時点も避難所として機能
- 建物に多数の重大な損傷あり



2024/11/2 県立輪島高等学校
2年生による街プロ中間発表



珠洲市役所での支援活動



珠洲市役所の産業医、看護師、総務課事務職員と連携して、職員面談を実施（公認心理師、産業医としての業務）



県立七尾特別支援学校珠洲分校と県立飯田高等学校の養護 教諭、管理職へのコンサルテーション業務



県立七尾特別支援学校珠洲分校
(珠洲市鶉飼 移転前)



県立飯田高等学校 (移転先)

特別支援学校珠洲分校は、校舎の脆弱性が判明し、急遽の移転を余儀なくされた



KEYPATの相談件数

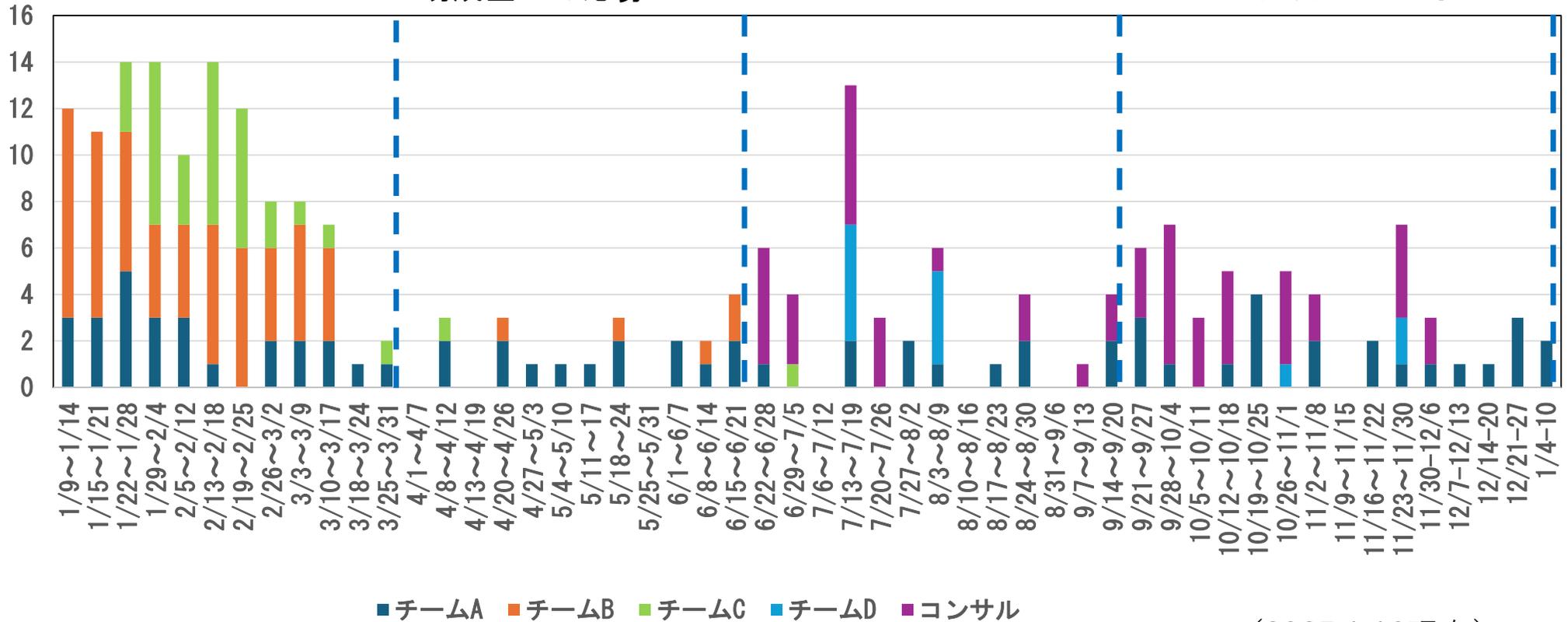
2025/1/10までの相談件数
 チームA（学生・家族）：73件、チームB（附属学校園児童・生徒・保護者）：61件、
 チームC（大学教職員・家族）：33件、チームD（被災地・集団）：12件、
 コンサル51件
計230件

第1期
 学内個別相談
 (ポストベンション)

第2期
 健康調査分析
 助成金への応募

第3期
 奥能登での支援

第4期
 水害後の支援と
 アンバーサリー反応への対応



(2025.1.10現在)



集団の支援

- 学内支援
 - ストレスマネジメント : 3回
 - コンサート（フルートとピアノ） : 3回
 - 講演会 : 3回
 - 食育プログラム : 14回
 - 留学生に特化した支援プログラム : 1回
- 被災地支援
 - コンサートとストレスマネジメント（県立飯田高等学校） : 1回



KEYPATの学術活動

情報を発信し続けなければ、能登の現状は忘れ去られてしまう



学術活動

- 被災の有無を含めた学生健康診断の健康調査（2024. 3-4月）
- 被災の有無を含めた教職員の健康調査（2024. 4-5月）
- JICAによるトルコ青年省招聘Webミーティング（2024/9/3）
- 国内の学会でKEYPATの活動と研究成果を報告
（2024年は計7回の学会発表）
- 2024. 12. 5-6に秋田市で開催された第46回全国大学メンタルヘルス学会総会では、KEYPATの発表に対して栄誉ある学会賞（岡庭賞）が贈られた



2024/9/3 JICAによるトルコ青年省招聘Webミーティング



KEYPATのこころのケアを紹介



2024/10/14 金沢大学公開市民講座 「復興に向けたメンタルヘルスケア」

金沢大学 KANAZAWA 2024年度 金沢大学公開市民講座

2024年1月1日、未曾有の大震災が能登半島地域を襲い、甚大な被害をもたらしました。この講座では、地震のメカニズム、こころのケア、震災遺構の保存・活用に関する講演を通じて、震災からの教訓と復興の道筋を探ります。幅広い視点から地震について学び、地域の安全と復興に役立つ知識を深めましょう。

開会挨拶 13:30 - 13:40
三浦 要 金沢大学理事 (副学長兼学務部長)
渡辺 英俊 副学長 (学務部長)

13:40 - 14:20
群発地震と 令和6年能登半島地震
理工学専攻地球社会創成学系 平松 良浩 准教授

14:30 - 15:10
復興に向けたメンタルヘルスケア
保健管理センター 吉川 弘明 准教授

15:20 - 16:00
震災遺構の保存・活用と 震災復興ツーリズム
人間社会環境地球創成学系 青木 賢人 准教授

要事前 申込
受講 無料
先着 50名

令和6年1月1日、マグニチュード7.6の大規模な揺れと津波が能登半島を襲いました。震災遺構は震災の記憶を伝える重要な役割を果たしています。これら一連の地震活動によって、能登半島の現状と今後の復興に向けた取り組みについて、

道に必要となる災害時の必要グッズ、生活の立て直しとともに「こころのケア」が重要になってきています。メンタルヘルスケアの大切さ、事業等について、これまで実施してきた支援活動も紹介いたします。

経済や観光業で生じた困難を乗り越え復興を推進する上で、震災の記憶を伝えるとともに、自然の恩恵に対する感謝を深められます。これら能登の新たなツーリズムとして観光し復興に貢献したいと再考します。

2024 10.14 13:30~16:00
会場 石川県政記念しいのき迎賓館 (石川県政記念館2F 11)

お申し込み・お問い合わせ
金沢大学 先端科学・社会共創推進機構
〒920-1192 石川県富山町南陽 TEL: 076-264-5272, 5273
Eメール: kanazawa@kanazawa-u.ac.jp
受付時間: 9:30~17:00(土日祝日を除く)

申込方法 要事前申込です。申し込みは必ず事前にお申し込みください。
申込先 <https://kanazawauniv.sa-advance.com/lectures/view/228>
お申し込みの際は、お申し込みの申し込み
【主催】金沢大学先端科学・社会共創推進機構 【共催】読売新聞東日本本社北陸支社
076-264-5272 申込 076-264-5273

10月10日(木)

災害の記憶が風化しないようにする活動



しいのき迎賓館



KEYPATの展望

- 地元の支援者や金沢大学の他部門との協力をさらに広げ、復旧・復興に貢献する。コミュニケーションの促進が重要。
- 被災地支援の体験、ノウハウ、成功や失敗の経験をパッケージ化して、次の被災地に引継ぐ準備を進める。
- KEYPATコアメンバーが進めていた ころの状態、精神的疲労を心拍変動から数値化する研究成果（ランダム化比較試験）が英文国際誌に掲載された（2025.1.24 米国東部時間 2PM）。今後、自覚されにくい疲労やころの変調を客観的に測る方法として社会実装を進める。

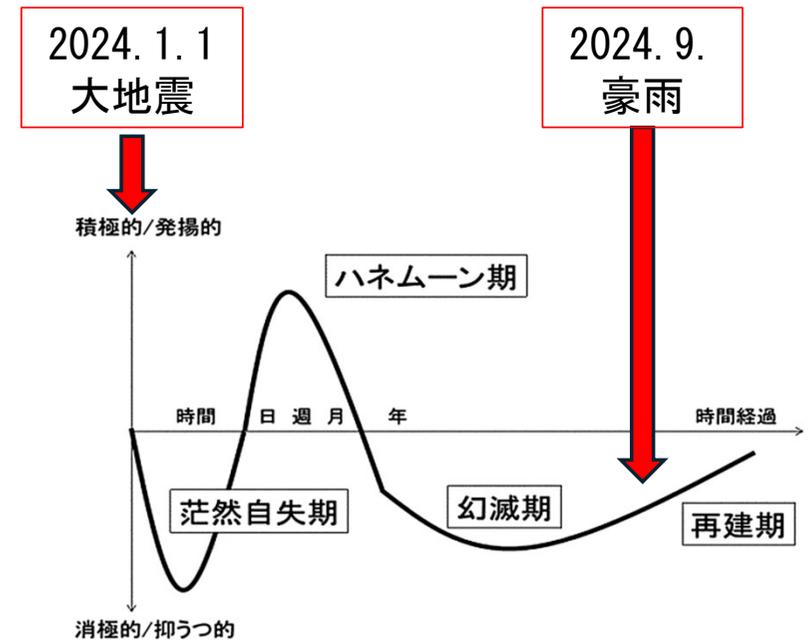


図1. 被災者の心理の時間的経過（外傷ストレス関連障害に関する研究会 金吉晴「心的トラウマの理解とケア」（2006）³⁾より改変）

大規模災害から復旧・復興



被災者と支援者へのころのケア



KEYPAT(Kanazawa Educational Yell Psychological Assistance Team)

能登半島地震・能登半島水害によって、こころの不調を抱えることになった方々を支援する金沢大学の全学的チーム（公式）です。

公認心理師を中心に構成されています。

KEYPAT

Email: KEYPAT-info@ml.kanazawa-u.ac.jp

X account: @KEYPAT468342

ご清聴ありがとうございました。

